



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2020年10月14日発行

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度
国際ロータリーテーマ

会長 伊藤 保 / 副会長 河井一朗 / 幹事 兼田昌紀 / SAA 橋濱智美
事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階
TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

10月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
例会 例会 例会 例会

本日のプログラム (10月14日)

川本 吉則 会員
「何故、私は農業に興味を持ったのか」

次回のプログラム (10月21日)

鶴田 秀樹 会員
「電気の種類」

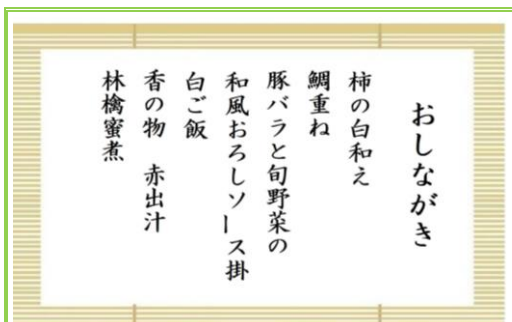
第1191回 2020年10月7日 例会記録

点 鐘 伊藤 保 会長
国歌斉唱 ロータリーソング「四つのテスト」

出席報告

	会員数 名譽・シニア	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (10/7)	28 2	19 0	2	5 2	80.77
メイク	重森・鶴田幸彦				
前々回 (9/9)	28 2	23 0	1	2 2	92.31
メイク	川本				

食事時間



会長時間



10月1日からタバコが値上りしました。1箱あたり約50円です。これを機会にタバコをやめてはいかがでしょうか？

禁煙のメリット

- ★食事がおいしく感じる。
 - ★衣服や部屋がタバコ臭くなくなって今まで以上にモテルようになる。
 - ★呼吸が楽になって、カラオケで声が良く出るようになる
 - ★なんといっても煙草代が浮く。
一日1箱吸ったとして、年間約20万円の節約になります。
- ちなみに、私は35歳の時に禁煙しました。そのきっかけを少しお話しします。1993年9月6日、フリーアナウンサーの逸見正孝さんが、緊急記者会見で癌を告白しました。私が見たのは夕方のテレビです。当時、人間的に大好きで尊敬していた逸見さんの告白にとっても驚きました。その会見の終わりに、必ず帰ってきたいと話していたのが印象強く、その時、私は逸見さんが復帰するまで、禁煙しようと決めました。それがわたしなりの応援の方法でした。そして、その年の12月25日、逸見さんは息を引き取りました。私の禁煙期間は、逸見さんが復帰するまでと決めていたので、逸見さんがなくなったことで、私はずっと禁煙を続けたまま、今日に至っています。

誘惑にかられたときのテクニック

- ★朝起きてすぐタバコを吸う人は、朝起きたらすぐに顔を洗うようにする。
- ★食事の後にタバコを吸う人は、食後に歯磨きをする。
- ★コーヒーと一緒にタバコを吸う人は、コーヒーを紅茶に代える。
- ★出勤中の車の中でタバコを吸う人は、大声で歌う。
- ★仕事の休憩時間にタバコを吸う人は、職場の人に禁煙宣言をする。
- ★帰宅時の車の中でタバコを吸う人は、大きく深呼吸する。

自分だけの体ではないということを理解し、禁煙にチャレンジしてみてもいいでしょうか？

幹事報告

《配布物》卓話資料、週報1190号
ロータリーの友、ガバナ一月信10月号、
米山記念奨学会豆辞典
公式訪問集合写真
野球同好会名簿・規約・2019-20決算報告

《回覧》10月例会出欠表

卓話時間

東広島地区共同募金会
事務局長 松尾 哲 様



「赤い羽根共同募金について」

赤い羽根共同募金をご存じだと思いますが、実際にどのように使われているかを皆様にご説明させていただき今後とも募金活動にご協力をお願いしたいと思います。



社会福祉法人
東広島市社会福祉協議会
地域福祉課
生活コーディネーター
山本公仁子 様

赤い羽根共同募金とは

- ・第二次世界大戦後、1947(昭和22)年に「国民たすけあい運動」として始まった
- ・「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第1回目の共同募金運動ではおよそ6億円の寄付金が寄せられた(現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当)
- ・現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ。」として、地域のさまざまな福祉活動を支援しています。

赤い羽根共同募金の起源

- ・「共同募金」のしくみは、元々アメリカで始まった(1913年)
- ・アメリカのしくみをもとに、太平洋戦争後に、日本でも始まった
- ・同様に、南アフリカ、カナダ、オーストラリアなど40の国や地域にも広がっている
- ・かつては、アメリカや南アフリカでも、かつてはシンボルとして「赤い羽根」を使っていたが、

現在は、日本だけが「赤い羽根」を使っている

「赤い羽根共同募金」は、
・英語では「コミュニティ・チェスト(Community Chest)」「地域の箱」と言う意味
・アメリカでは「ユナイテッドウェイ(United Way)」
(各国それぞれ呼び名が異なる)

- ・募金活動には、いろいろな色の羽根を使う募金があり、それぞれ異なる団体が行っている

<主な募金活動>

- ・赤い羽根共同募金・・・助けを必要とする人たちのため(共同募金会)
- ・緑の募金・・・森林づくりの活動(国土緑化推進機構)
- ・青い羽根募金・・・海の事故をふせぐ活動(日本水難救済会)
- ・海の羽根募金(水色)・・・水難遺児の支援(漁船海難遺児育英会)
- ・黄色い羽根募金・・・腎臓移植の支援(日本黄色い羽根協会)
- ・白い羽根募金・・・青少年赤十字の活動(日本赤十字社)
- ・炭鉱募金(黒い羽根)・・・炭坑事故の罹災家族の支援 ※現在は行われていない

■最近では、ピンクリボン(乳がんの啓発)やオレンジリボン(子どもの虐待を防ぐ)など、リボンをシンボルとした募金活動も増えてきている

赤い羽根共同募金のしくみ

- ・都道府県を単位に行われている
- ・同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられる
- ・共同募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われている

赤い羽根共同募金の募金方法

募金の種類	募金方法
戸別募金	自治会役員や自治会における募金ボランティアが各家庭を訪問して寄付
街頭募金	駅前や商店街などの街頭において通行人等に寄付をお願いする
法人募金	企業・法人を中心に、ダイレクトメール方式や訪問などによって寄付をお願いする
職域募金	企業、団体、官公庁などの職場で、従業員が社会貢献活動の一環として行う
学校募金	福祉教育の一環として共同募金会では「子どもたちが福祉を学ぶための入り口」として、赤い羽根共同募金への活動への参加による
興行募金	さまざまなイベント・行事(チャリティー・スポーツ等)を実施して、その場に集まった人々に寄付をお願いする
その他の募金	いろいろなお店に設置してある募金箱への寄付や、共同募金会事務局窓口での寄付、インターネットでの募金(ネット募金)、自動販売機による募金等による

赤い羽根共同募金のつかいみち

- ・地域助成
 - ・・・市区町村での活動を応援
(例)高齢者サロンの運営
点訳ボランティア等のボランティア活動の費用
- ・広域助成
 - ・・・市区町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援
(例)災害ボランティアセンターの運営
障がい者の共同作業所の車両整備
社会福祉施設の改修
子ども食堂 など
さまざまな民間の地域福祉活動を支援

～地域助成による活動について～

① 地区社会福祉協議会活動

●郷田地区社協(西条南)

事業名:郷田保育所に対する備品の支援と交流
事業内容:茶道用茶碗20個、扇子一式

保育園児に茶道を通して礼儀作法の習得及び落ち着きある子育てに貢献し、集団のなかで人を思いやる心の育成、社会性を培う

●高美が丘地区社協(高屋)

事業名:ひなまつり交流会
事業内容:事前準備のため、地域サロンで手づくりのお雛様等の展示物を作成して、世代間の交流等を深める

●中組地区社協(八本松)

事業内容:川上小学校通学路のフラワーロード整備(プランター整備(約50個)・花植替え(年2~3回)・水やり(毎日))

●吉川地区社協(八本松)

事業名:あったか交流事業(年3回)
対象者:70歳以上の独居高齢者
事業内容:対象者と民生委員による食事会(1回)
手作りお弁当の配布(地元小学4年生の協力を得て)

●別府地区社協(志和)

事業内容:敬老会の実施での出演団体へのお礼の一部に充当

② 住民自治協議会活動

●西条住民自治協議会(西条町)

事業名:酒蔵スランプリ&とんど
事業内容:冬季における運動不足対応、会費相互の親睦、地域施設の再発見(スランプリ)、伝統行事の継承

●御蘭宇小学校区住民自治協議会(西条町)

事業名:地域施設の交流事業
事業内容:明るく住みよい町づくりを目指して、小学生、認定こども園、幼稚園、福祉施設等を訪問し、種々のボランティア活動
⇒小学校での栽培活動支援、とんど、昔遊び、幼稚園・認定こども園での餅つき、福祉施設での音楽演奏

●三永まちづくり協議会(西条南)

事業名:ひとり暮らし高齢者見守り事業(災害時要援護者避難支援事業含む)
事業内容:昼食を高齢者宅にお届けする要援護者を含め定期的に各家へ訪問し、見守りを実施

●造賀地区自治協議会(高屋)

事業名:あったか交流会(造賀地区社会福祉協議会)
事業内容:一人暮らしの高齢者にお弁当給食を実施
地区社協ボランティア会員が調理する小学4年生の児童と一緒にお弁当を対象者に届けている

③ 女性会活動

●寺西女性会(西条北)

事業名:寺西女性会事業
事業内容:①各種教室を開設し、多くの人の参加を促しながら地域の向上に努め、これが実践につながるよう学習に努める
②環境保全について調査研究し、更なる関心を深め住み良い環境づくりのため活動する。継続しての取り組みで結果につながる

④ 地域サロン活動

●地域の誰もが、「気軽に」「無理なく」「楽しく」「自由に」過ごせる、地域の「仲間づくり」「出会いづくり」の場です。

●参加者の皆さんが、会食・健康体操・創作活動・レクリエーション…等、自由な発想で企画し、自主的に運営しています。

●同じ地域で暮らす住民同士が定期的に集い、交流することによって、お互いに支え合って暮らしていける地域づくりを目指しています。



高齢者中心のサロン活動



笑いヨガ



健康相談



ひなまつり会



コミュニケーション麻雀&ランチ会



お正月花飾り



防災勉強会



トランプ



歌唱



流しそめん

当事者サロン活動

きんさい家 in 大久野島 遠足企画



きんさい家 in もちつき大会



きんさい家 in もちつき大会



準備を通して
多世代交流♪



⑤ 学習支援（みらい塾）

生活保護の世帯の方や不登校児童、自宅で学習の機会がなかなか持てない小学生・中学生・高校生に学習支援を行っています。

クリスマス会



クリスマスといえば
ケーキ 🍰
災害ボランティアの際に
お世話になったMIKEさん
のケーキです♪

みらいの仕事発見授業



キャビンアテンダント
のお仕事について、教
えてもらいました☆☆

警察官のお仕事に
ついて、お話を伺い
ました☆☆



⑥ そよかぜねっと活動

日々の暮らしの中の「ちょっとした困りごと」を、利用者さんと協力者（通称：そよかぜさん）が共に行う、「住民同士のお互いさま活動」です。

目的：つながり作り
（一緒に活動する）

！注意！留守の間に、草取り
やっておいて～はだめです！



実際の活動

利用者さんと草取り活動



衣替え



鉢植え

活動状況（令和元年度）

利用内容	東広島市内 (合計)
子守り	200件
草取り	20件
話し相手	3件
掃除・洗濯	21件
その他(庭の軽作業、外出付添いなど)	20件
合計	264件
高齢者	64件
障がい者	0件
子育て	200件
その他	0
合計	264件

活動件数

平成30年…189件（H30年7月豪雨災害）

令和元年…264件（新型コロナウイルス感染拡大
防止のため3月中止）

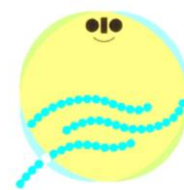
活動の傾向について

若い方が多い地域（西条・高屋）

⇒ 子育て世代から

その他の地域 ⇒ 高齢者から

そよかぜさん活動費



そよかぜさんの活動費 (1時間あたり)
300円 利用料
+ 300円 県社協・共同基金 会費・寄付金
↓ 600円 そよかぜさんへの 活動費

そよかぜねっと協力員登録者数

(単位:人)

西条	八本松	志和	高屋	黒瀬	福富	豊栄	河内	安藝津	計
93	41	13	49	4	7	8	43	42	300

⑦ 地域の福祉教育

小中学校を含めた、地域の様々な場面で進められる地域福祉教育を推進・支援

学校で行われる福祉体験では、地域のさまざまな人財(ボランティア・民生委員・福祉施設職員)と連携し「共に学ぶ福祉教育」を勧めている

福祉体験学習の推進①

児童・生徒の福祉教育を進めるため学校と連携しながら様々な福祉・ボランティア体験を提供している

<福祉の学習メニュー>

- ・アイマスク体験
- ・車いす体験
- ・点字体験
- ・高齢者疑似体験
- ・音訳体験
- ・盲導犬の学習
- ・手話体験
- ・要約筆記体験
- ・認知症サポーター養成講座
- ・福祉の職場魅力発見授業
- ・避難所運営ゲームHUG(ハグ)

<高齢者疑似体験の様子>



高齢者疑似体験の道具などを共同募金で購入

赤い羽根共同募金のつかいみち

～広域助成による活動について～

⑧東広島市被災者生活サポートボラネット推進事業

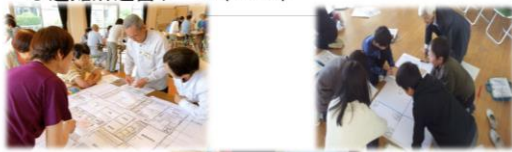
●災害時におけるボランティア活動(被災者サポートボランティア活動)を市内の関係機関・団体が協働してすすめるためのネットワーク

平常時から、いざという時の「共助」を培うために、情報交換や防災・減災に向けた地域の防災リーダー養成講座を開催し、活動の拠点となるボランティアセンターの体制づくりを行い、

災害時には「被災者生活サポートボランティアセンター」を設置

東広島市被災者生活
サポートボラネット推進事業②

●避難所運営ゲーム(HUG)



平岩脳トレクラブ

高美が丘小学校

東広島市被災者生活
サポートボラネット推進事業③



龍王小学校
段ボールベッド作成

JCI防災フェスティバル

サロン馬の宿 新聞でつくるスリッパ

平成30年7月豪雨災害



被災者生活サポートボランティアセンター (災害ボランティアセンター) を開設

- 目的・・・災害を受けた地域、被災者支援
- 内容・・・被災者からの相談を受け、県内外からのボランティアを調整
- 効果・・・被災者の生活の早期再建
ボランティア活動を効率的に行う
被災者、ボランティアを守る



※平成30年7月豪雨災害では、
平成30年7月9日～9月7日まで設置

災害ボランティアセンターの運営体制

班	役割
総務班	他団体等との総合調整、広報的機能
ニーズ班	被災者からの相談を受け活動内容(ニーズ)の把握等
ボランティア受付班	ボランティアの当日受付 団体事前受付
活動調整班(マッチング班)	ニーズとボランティアのマッチングを行う
車両資材班	資機材や、車両の調整
救護班	ボランティア活動中のケガ等への対応
ボランティア支援班	ボランティアに必要な物資等の調整

災害ボランティアセンターの派遣依頼状況

●活動状況について(7月9日～9月7日)

【支援依頼(ニーズ)件数】

(単位:件)

西条北	西条南	八本松	志和	高屋	黒瀬	福富	豊栄	河内	安芸津	合計
10	27	18	49	53	67	10	9	52	239	534

【依頼内容】

(単位:件)

土砂かき	家財の移動・ 災害ゴミ搬出	土のう積み等	清掃・消毒	その他	合計	完了件数
452	50	20	7	6	534	527

災害ボランティアセンターの活動者

- 募集範囲 開設当初は、市内に在住、勤務または在学している方を対象

【ボランティア活動者数】

ア 現地活動者 延べ6,043人

団体 1,493人
個人 4,550人 (うち市内 3,660人 80%
市外 890人 20%)

イ 運営協力団体 延べ1,531人

東広島市民生委員児童委員 (西条北・西条南・高屋・八本松)
西条市街地区社会福祉協議会・OPERATION つながり (広島大学)
東広島市社会福祉施設連絡協議会・東広島青年会議所・シャープ社友会
(株)マツダ・東広島商工会議所青年部・在宅看護職の会・東広島地区医師会
会・訪問看護有志の会・個人有志・広島国際大学・近畿大学

ウ 社協ブロック派遣等 延べ317人

広島県社協7/8~8/21
宮城県石巻市7/19~7/23(単独)
全国ブロック(北海道・東北)7/26~8/26
宮城県:宮城県・石巻市・多賀城市・桶谷町・亘理町
青森県:青森県・七戸町・田子町
秋田県:秋田県・横手市
北海道:北海道・札幌市
中国ブロック(鳥取・島根)7/13~8/25
鳥取県:日吉津村・境港市・琴浦町・米子市・伯耆町
島根県:益田市・雲南市・大田市・浜田市・出雲市・津和野町
広島県
庄原市 8/6~8/26

災害ボランティアセンターの様子

7月13日(金)のボランティアの募集開始日の受付前の様子



マッチング班が現地へ派遣するためのグルーピングを行っているところ



●初日の
ボランティア派遣数…
422人

最大493人

<ボランティアセンター開設日のロビーの様子>

- 活動前に資材等の準備をしている様子



ボランティア受付班

ボランティアの受付 名前・住所・連絡先の記入
ボランティア活動保険の受付



ここにおられる理事の近藤さんが、高屋地区の民生委員児童委員協議会の会長をされていたのですが、ボランティアの受付班として連日、お手伝いに来てくださいました。

- 地域の方と一緒に、家の敷地内に流入した土砂をスコップで取り除いていく様子



- 活動が終了しセンターへ到着後の様子



左上の写真の場所にうがい場も設置。今回のような水害では、特に、土砂などに細菌が繁殖している可能性もあり、感染症などに気を付ける必要がありました。右上の写真は、暑い中でのボランティア活動に感謝し、おしぼりや飲料水をお渡しし、皆さんには大変喜んでいただきました。また、ここでは、現地での活動ができない小学生などが手伝ってくれました。

支援物資等

軽トラ 1台 外部クーラー 4台
スコップ 515本
土のう袋 150,050枚
ブルーシート 180枚 軍手類 7,619双
マスク 14,510枚 飲料水 22,858本
紙コップ 3,150個他



124の企業、団体、個人から多くの必要な物資を提供いただきました。

ボランティアの方に本当に感謝！！



令和2年7月豪雨災害

- 九州南部豪雨を皮切りに九州地方、東海、東北と全国的に豪雨が発生。東広島市でもお二人の方が土砂崩れにより亡くられました
警戒レベル3、地域によってはレベル4が発令される。
皆さん避難されましたか？

被災地の社会福祉協議会の動き

- 災害ボランティアセンターを開設被災者支援を行っている。
7県26市町で災害ボランティアセンターが開設
⇒現在6市町村で開設中
- ボランティア活動者数
計39,000人（令和2年8月末日現在）
- ※参考 平成30年7月豪雨災害時の同時期ボランティア数
計95,000人

コロナ禍でも被災者支援を行うために 支援者もコロナ禍から守るために

- 現在のマニュアルをコロナ対策用に修正
 - ①受付方法の電子化など仕組みを変更
 - ②3密を可能な限り省く（動画などを使う）
 - ③ボランティアが効率よく活動するためにコロナ対策の物品の調達

新型コロナウイルスという災害のなかで

- コロナの感染拡大の懸念
ボランティア募集の範囲の制限
ボランティア、支援者の減少
住民感情が分かれる
 - ・コロナに感染してはいけないのでボランティアに来てほしくない？
 - ・少しでも多くの人に手伝ってもらいたい？

より身近な地域のつながり、支えあい、助け合い活動が重要となってくる

令和2年の豪雨災害から見てきた課題としては、ボランティア募集を広くとも県内の募集に制限をせざるを得ず、支援者は確実に少なくなる見込みの他、地域では、コロナに対する嫌悪感、感染への恐怖がある一方、一人でも多くの人に来てもらいたい！という方と二分化しています。

このような状況を踏まえると、やはりより身近での地域のつながりや助けあい活動が重要となってきます。コロナ禍でも被災者支援が行えるよう今後も平常時の取り組みを継続して行ってまいります。色々これまでのやり方が難しい場合もあるかと思いますが、またコロナ対策を踏まえたVCのマニュアルなど共有していく予定です

⑨ 広報活動

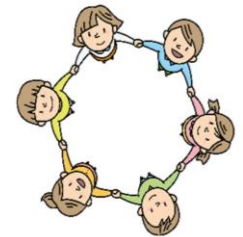
- ・広報誌「ふれあい」
- ・社協パンフレット
- ・ホームページ



最後に

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために

- ・地域～行政～社協等との連携（相談窓口としてのPR）
住民自治協議会、自治会、地区社協、農業法人、NPO、学校、企業、民生委員、市、包括支援センター、社会福祉法人 など
- ・地域の交流の拠点
サロン、通いの場、老人会 など
- ・人と人とのつながり
そよかぜねっと（オール広島ささえあいねっと）
- ・地域活動などへの参加
地区社協活動、防災訓練（地域活動）、お祭り など



今後の地域の繋がりがりづくりについて、社協として、また地域担当者として思うことですが、「サロン活動」などは、普段、同じ町内に住んでいるのに全く知らなかった人たちにとって、地域の交流の拠点になったり、「そよかぜねっと」のような“ちょっとした生活上に困りごと”を活動者の方と一緒に解決していくことで、地域のなかに、人と人との繋がりをつくっていくものではないかと考えます。

また、防災訓練や地域の行事など、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民が参加すれば、世代を超えて触れあう、学び合う場にもなります。このように顔見知りの関係から、人と人との繋がりができれば、見守りもそうですが、生活上の困りごとや心配事に早期に対応できますし、地域全体の問題として取り組むきっかけにも繋がるのではないかと感じています。

社協も、「安心して暮らし続ける事のできる町」を目指すために、お手伝いをさせて頂きたいと思っています。

最後に一言、「みんなの力にありがとう！」

そして、これからも「頑張ろう！広島！」

ご清聴ありがとうございました。